Vestax

Vestax Mixing Controller

VMC-002XLu

取扱説明書 P.2~

OWNER'S MANUAL P.9~

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013
Web：www.vestax.com

Vestax Corporation
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan
Phone 03-3412-7011 Fax 03-3412-7013
Web : www.vestax.com

Vestax (Europe) Ltd.
Unit 5 Riverwey Industrial Park Alton Hampshire GU34 2QL England, U.K.
Phone (0)1420-83000 Fax (0)1420-80040
Web : www.vestax.co.uk

Vestax Europe Technical Support
Rheinstr.213 D-53332 Bornheim Germany
Phone 49(0)2222-95-23-72 Fax 49(0)2222-95-23-74

ごあいさつ

この度は、ベスタクスミキシングコントローラー VMC-002XLu をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いします。

目　次

ご使用上の注意 ………… 2
安全上のご注意 ………… 3
本機の特長 ………… 4
各部の名称と機能 ………… 4
　トップパネル ………… 4
　フロントパネル ………… 6
　リアパネル ………… 6
　フェーダーユニットの交換 ………… 7
接続例 ………… 8
主な仕様 ………… 8

ご使用上の注意

電源について

- ●雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- ●接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- ●この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- ●テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- ●通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- ●変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- ●故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

- ●お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- ●当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- ●本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方（過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- ●スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意下さい。
- ●ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体（頭の部分）を持って行うようにして下さい。
- ●音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告 この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

指を挟まれないよう注意

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
●万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグを
コンセントから抜け

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

●オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
●電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

●VMC-002XLuは、DJプレイに必要な基本機能をコンパクトなボディーに凝縮したエントリークラスのDJミキサーです。

●各入力チャンネルにはトリムボリュームと、さらにHI、MID、LOWの3バンドアイソレーターを搭載しています。入力系統は、PHONO入力2系統、LINE入力2系統、MIC入力1系統の全5入力に対応しています。

●クロスフェーダーには、長年に渡り使用されている"CF-RUS"が標準装備されています。また、その滑らかな操作性と共に、過酷なスクラッチに耐えうる耐久性とカーブ特性をもったクロスフェーダー"CF-PCV(別売)"にも交換可能です。

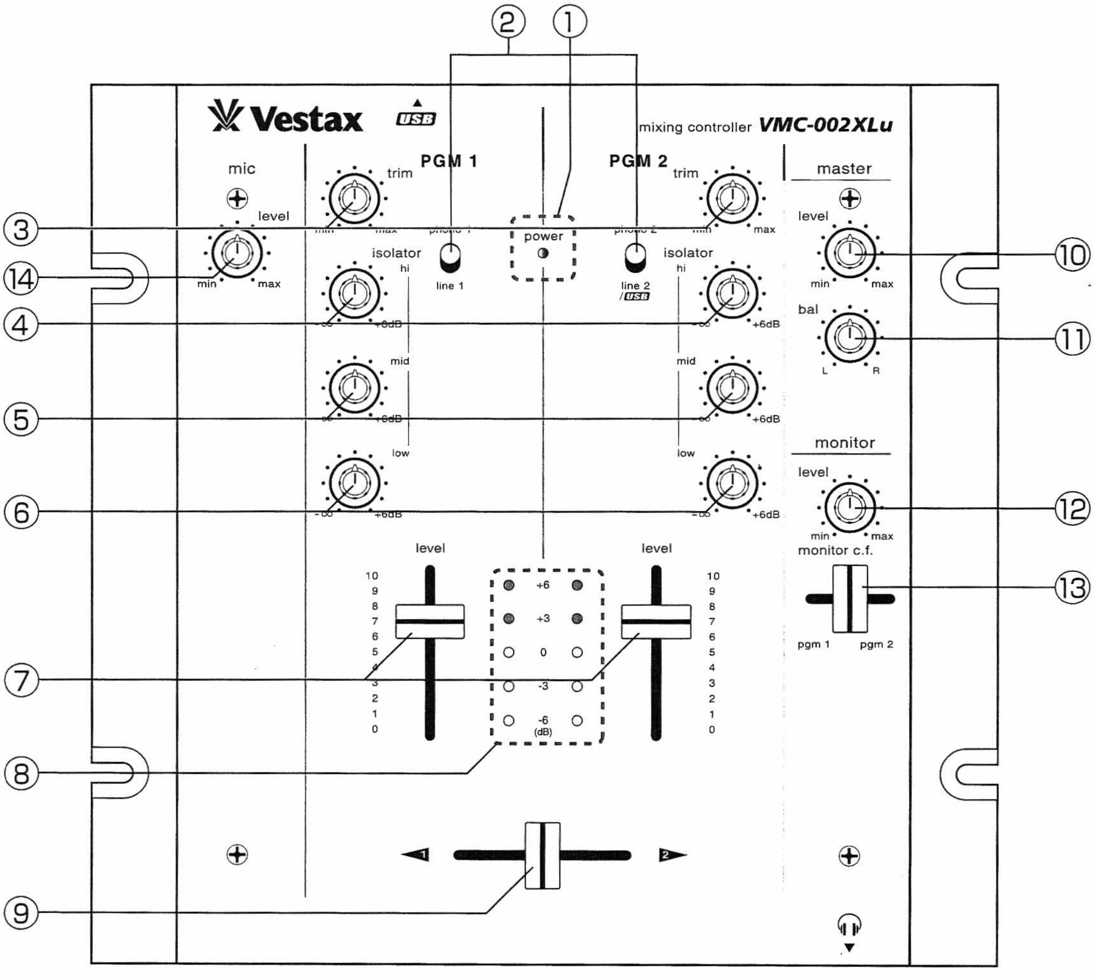
●操作面にパネルの継ぎ目のないダブルパネルシステムを採用しています。クロスフェーダーはパネルの下にマウントされています。トップパネルをはずせば、簡単に交換することができます。

●新機能として、フロントパネルにヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチを搭載しています。夜間でもヘッドフォンを使用し、DJプレイの練習が可能です。

●別売りのオプションUSBボード(TUB-1)を搭載することで、PCとのデジタル接続が可能になります。

各部の名称と機能

トップパネル



①**POWER（パワー）インジケーター**
リアパネルの電源スイッチのON／OFFを確認するインジケーターです。ONの時にLEDが点灯します。

②**PHONO／LINE（フォノ／ライン）セレクター**
各プログラムチャンネルに入力する信号（PHONO及びLINE）を選択するスイッチです。セレクターを切り替えることにより、PHONO入力ジャック㉑、LINE入力ジャック⑳に接続された機器のどちらの信号を入力するかを選択できます。

※Line2／USBにスイッチを選択時は、オプションUSBボード（別売）及びLine2に対応します。両方共接続されると同時に入力される状態になります。

③**PGM TRIM（トリム）ボリューム**
各プログラムチャンネルに入力された音楽ソースのレベル差を調整するボリュームです。インプットレベルボリューム⑦の目盛りが7から8の位置でレベルが合うように調整してください。

④**PGM ISOLATOR HI（アイソレーター）ボリューム**
高音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左に回すと高音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするとき等に使用します。

⑤**PGM ISOLATOR MID（アイソレーター）ボリューム**
中音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左に回すと中音域帯音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。ボーカルソースをカットして、リズムソースを強調するとき等に使用します。

⑥**PGM ISOLATOR LOW（アイソレーター）ボリューム**
低音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左に回すと低音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出すとき等に使用します。

⑦**INPUT LEVEL（インプットレベル）ボリューム**
プログラムチャンネルの音量を調整するボリュームです。

⑧**INPUT LEVEL METER（インプットレベルメーター）**
各プログラムチャンネルに入力されているレベルを表示するメーターです。

⑨**CROSS FADER（クロスフェーダー）**
各プログラムチャンネルから出力される音声信号のMIXバランスを調整するボリュームです。左側に移動するに従いPGM1の音が、右側に移動するに従いPGM2の音が、それぞれ出力されます。また、中央部では、両方の音が同時に出力されます。

⑩**MASTER LEVEL（マスターレベル）ボリューム**
リアパネルのLINE OUTジャック㉓・㉔から出力されるレベルを調整するボリュームです。

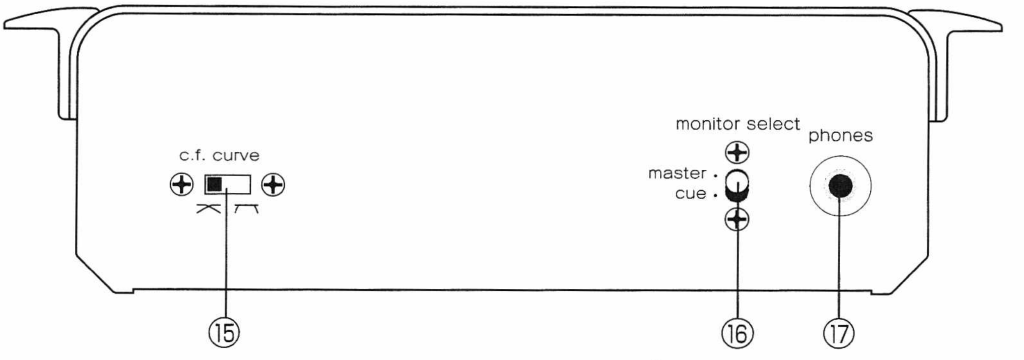
⑪**MASTER BALANCE（マスターバランス）ボリューム**
リアパネルのLINE OUTジャックから出力される音声信号のL、Rのバランスを調整するボリュームです。

⑫**H.P. LEVEL（ヘッドフォンレベル）ボリューム**
フロントパネルのPHONESジャック⑰から出力される音声信号の出力レベルを調整するボリュームです。

⑬**CF MONITOR（クロスフェーダーモニター）ボリューム**
ヘッドフォンでモニターする音声信号を選択するボリュームです。CROSSFADERと同様に、ツマミの位置に応じ、PGM1とPGM2の信号が切り替わります。フロントパネルのMONITOR SELECTスイッチ⑯が" MASTER" 側にセットされている時は、切り替わりませんのでご注意下さい。

⑭**MIC LEVEL（マイクレベル）ボリューム**
リアパネルのMICジャック㉖に接続されたマイクの音量を調整するボリュームです。

フロントパネル

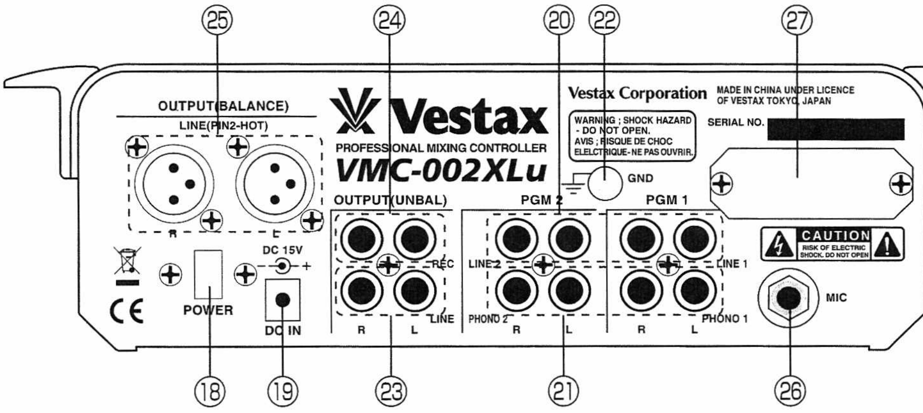


⑮**C.F. CURVE（クロスフェーダーカーブ）スイッチ**
CROSS FADER⑨の音量変化のカーブ特性を切替えるスイッチです。スイッチを右側に切替えると、急激な音量変化になりスクラッチやカットイン/カットアウトに適したカーブになります。また左側に切替えると、なだらかな音量変化になり、ロングミックスに適したカーブになります。

⑯**MONITOR SELECT（モニターセレクト）スイッチ**
ヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチです。
・MASTER：LINE OUTジャック㉓・㉔から出力される信号をモニターすることができます。このときC.F. MONITORボリューム⑬を操作しても、ヘッドフォンから出力される音声は変化しません。
・CUE：C.F.MONITORボリュームを操作することにより、PGM1及びPGM2の信号を任意の音量バランスでモニターすることができます。

⑰**PHONES（ヘッドフォン）ジャック**
ヘッドフォンを接続する端子です。8～600ohmまで使用可能で、適正は150ohmです。φ6.3標準ステレオプラグに対応しています。

リアパネル



⑱**POWER（パワー）スイッチ**
電源のON/OFFスイッチです。

注　意
このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合破損する恐れがありますのでご注意下さい。

⑲**POWER IN（パワーイン）ジャック**
付属の電源アダプターを接続する端子です。専用のアダプター（Vestax DC-15A）を接続して下さい。

注　意
Vestax　DC-15A以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。その場合、保証しかねますのでご了承下さい。

⑳**LINE（ライン）入力ジャック**
各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、CD-R/RWプレイヤー、MDプレイヤー、TAPEデッキ、DAT、VTR、DVDプレイヤー音声出力等を接続して下さい。RCAピンプラグ（アンバランス出力）に対応しています。

㉑**PHONO（フォノ）入力ジャック**
ターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。なお、MCタイプのカートリッジをご使用の場合は別売のヘッドアンプが必要になります。

㉒**GND（グランド）端子**
PHONO入力ジャックに接続したターンテーブルのアース端子と接続する端子です。ノイズやハムを減少させます。

㉓**LINE OUT（ラインアウト）ジャック**
最終的にミックスされた音が出力される端子です。アンプ等に接続してください。RCAピン（アンバランス出力）プラグに対応しています。

注　意
お手持ちのアンプに接続する際は、TAPE、AUX、MD、DATといった入力端子に接続して下さい。"PHONO"入力端子はレコードプレーヤー専用で、専用の回路が内蔵されていますので、音が割れたり、歪んだりします。それだけでなく、アンプ、スピーカーの破損の原因となりますのでご注意下さい。

㉔**REC OUTPUT（RECアウトプット）ジャック**
テープレコーダー、MD、DAT等の録音機器またはアンプの入力端子へ接続して下さい。音量は、LINE　OUTジャック同様MASTER LEVELボリュームで調整してください。

㉕**OUTPUT (アウトプット)ジャック**
[BALANCED XLR JACK: HOT=PIN2]
この端子から出力されるレベルは、LINE　OUTジャック㉓・㉔同様MASTER　LEVELボリューム⑩によって音量調整された信号が出力される出力端子です。アンプなどの入力端子へ接続して下さい。(オーディオ用アンプの場合、LINEやAUX表記のあるジャックに接続します。)

㉖**MIC（マイク）ジャック**
マイクを接続する端子です。ϕ6.3標準ステレオプラグ（アンバランス入力）に対応しています。

㉗**オプションボード挿入口**

フェーダーユニットの交換

注　意

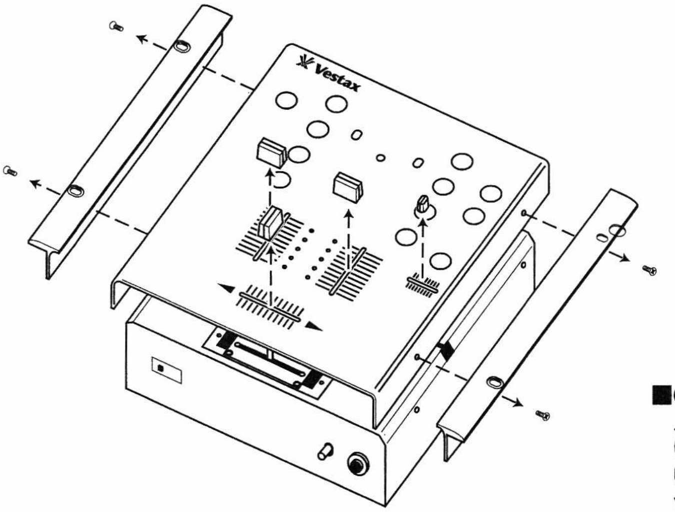
・フェーダーを交換する際は、安全のため電源をお切り下さい。ノイズが出たり、ショートするおそれがあります。
・ドライバーをご使用になる際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまうことがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

■トップパネルの外し方

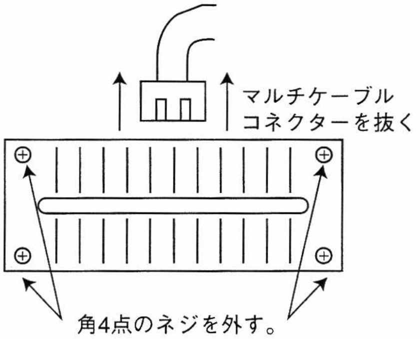
①図aのように、スライドボリュームのツマミ(計4個)を取り外して下さい。

②図aのように、ラックマウント部分を固定している本体側面の4点のネジをプラスドライバーを使用し、外して下さい。

③両側のラックマウント部分を外し、トップパネルを上へ引き上げ、外して下さい。



図a

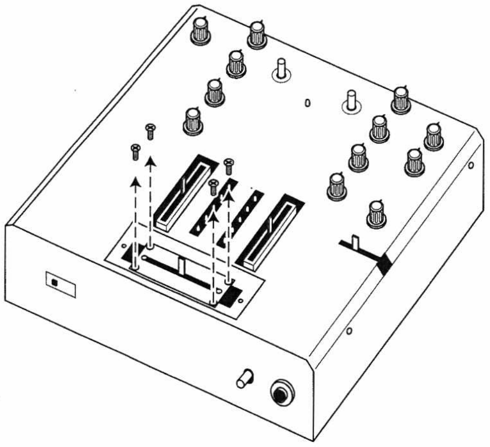


図c

■フェーダーの交換

①図bのように、フェーダーパネルを固定しているネジを外し、フェーダーユニットごと上に持ち上げて下さい。
②図cのように、フェーダーユニットと本体を接続しているコネクターを引っ張って取り外して下さい。
(その際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。)
③新しいフェーダーユニットと交換し、逆の手順で取り付けて下さい。

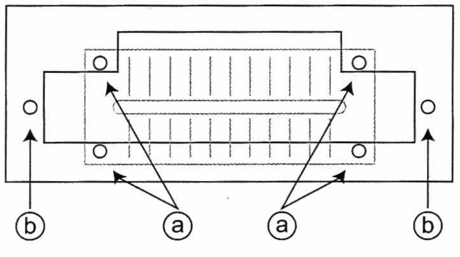
＊交換可能なクロスフェーダーユニットは、CF-R US、CF-R、CF-PCVになります。



図b

■CF-PCVに交換する場合

上記フェーダーの交換の要領で交換して下さい。但し、取り付け位置は2点(図dのⓑの位置)になります。また、CF-PCVには切り替えスイッチが付いていますので、スイッチをPCV側にセットしてから取り付けて下さい。



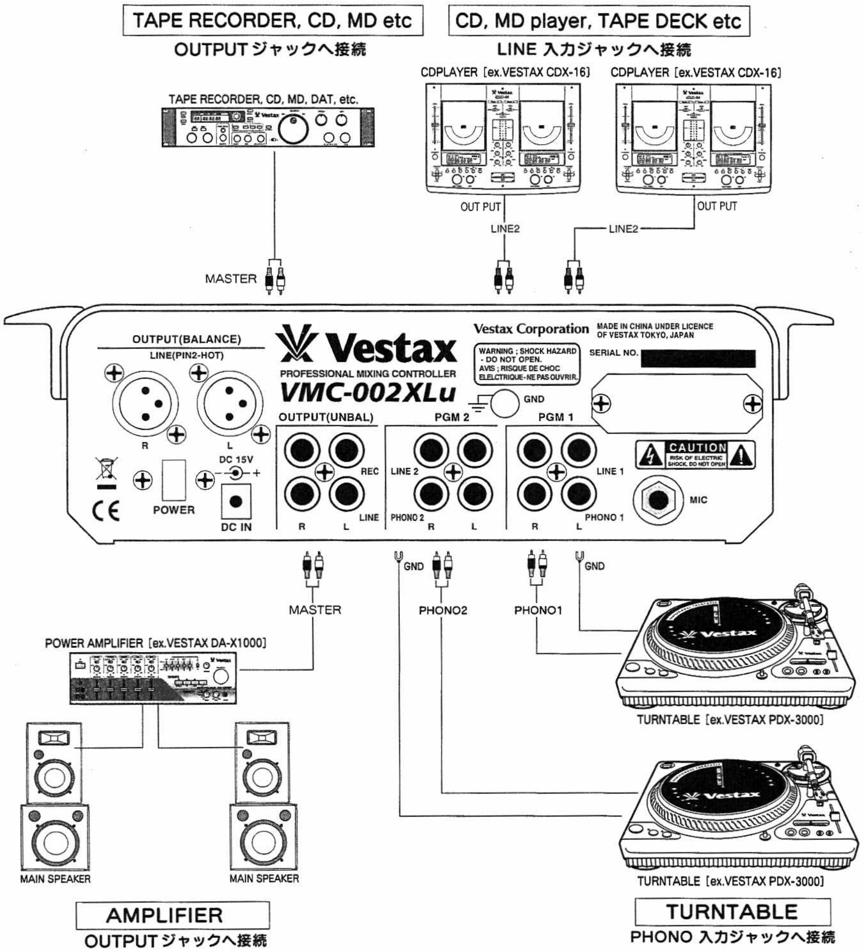
ⓐ: CF-RUS or CF-R
ⓑ: CF-PCV

図d

注　意

フェーダー交換の際に✕印の部分のネジを緩めないで下さい。

接続例



主な仕様

		NOMINAL INPUT	IMPEDANCE
INPUT SECTION	PHONO 1, 2 (RCA PIN JACK)	-45dBv	49KΩ
	LINE 1, 2 (RCA PIN JACK)	-4dBv	7KΩ
	MIC (1/4" PHONE JACK)	-52dBv	3.3KΩ
		NOMINAL OUTPUT	IMPEDANCE
OUTPUT SECTION	LINE OUT (RCA JACK)	0dBv	220Ω
		MAXIMUM OUTPUT	IMPEDANCE
	HEADPHONE (1/4" PHONE JACK)	100mW(47Ω load)	>8Ω
FREQUENCY RESPONSE		20Hz ～ 20KHz ±3dB	
CROSS TALK		65dB over	
S/N RATIO		70dB over	
POWER SUPPLY		DC15V 500mA	
DIMENSIONS(W×H×D)		264×105×260(mm)	
WEIGHT		4.0kg	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

Vestax

mixing controller
VMC-002XLu TUB
VMC-004XLu TUB
VMC-004FXu TUB

補 足 説 明 書

ベスタクス株式会社
〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013
Web：www.vestax.com

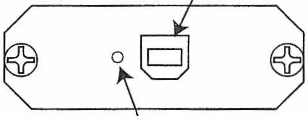
◇ごあいさつ
お買い求め戴きましたモデルが、下記いずれかの場合、この説明書も併せてお読みくださいます様お願い致します。
(それぞれの箱に"TUB"というラベル表示のあるもの)
●VMC-002XLu_TUB
●VMC-004XLu_TUB
●VMC-004FXu_TUB

◇ご使用方法
USBケーブルで、本機のUSB入出力端子とコンピュータのUSB端子を接続します。
コンピュータのOS内標準ドライバを使用するため、USB接続をするだけで音声の入出力が可能になります。
※本機に搭載のUSBボードは、
・USB1.1(USB2.0互換)に対応
・USBバスパワーで動作(USBバスから電源供給)
します。
USBケーブルをコンピュータと接続後、正しく認識され電源供給が開始されると、USB POWER LEDが点灯します。

◇USB入出力端子のアサイン位置について
(1) VMC-002XLu_TUB
⇒VMC-002XLu取扱説明書6ページ(27)を参照してください。
アサイン位置：
入力：PGM2 のLINE2/USBへ
出力：MASTER出力から

(2)VMC-004XLu_TUB
⇒VMC-004XLu取扱説明書6ページ(20) を参照してください。
アサイン位置：
入力：PGM4 のLINE4/USBへ
出力：MASTER出力から

(3)VMC-004FXu_TUB
⇒VMC-004FXu取扱説明書6ページ(29) を参照してください。
アサイン位置：
入力：PGM3のLINE5/USBへ
出力：MASTER出力から



◇コンピュータシステムの環境について
システム最低必要条件

●OS(オペレーティング・システム)サポートについて
Windows：
Windows 98/98SE/Me, 2000/XP以降をサポートします。
(Windows XPでは、Windowsアップデートサイトで更新できるUSBオーディオドライバーの最新版を使用してください。)

Macintosh：
・Mac OS X 9.1またはそれ以降
・Mac OS X 10.0 English Editionまたはそれ以降
・Mac OS X 10.1 Japanese Edition またはそれ以降
(＊Mac OS X 10.0 Japanese Editionではサポートしていません。)
をサポートします。
それ以前のバージョンではサポートしていません。

※ご注意
・この最低システム必要条件は、本品ハードウェアをご使用になる時の必要条件です。お使いになるソフトウェアの最低システム必要条件が、本品システムの必要条件より高い場合は、ソフトウェアの最低システム必要条件以上を満たすハードウェアをご用意ください。

・MacintoshのCPUアクセラレータ・カードはサポートされておりません。コンピュータにUSB端子が搭載されている必要があります。

・コンピュータのサウンドデバイスが、YAMAHA AC-XG Audio Deviceの場合、動作しない可能性がありますのでご注意ください。

＊上記条件を満たしていても、全てのコンピュータ及びデバイスでの動作を保証するものではありません。

◇コンピュータ上でのUSB接続認識確認

通常では、本機のUSB入出力端子とコンピュータのUSB端子を接続し、本機のUSB POWER LED(赤色)が点灯している場合、使用状態になっています。
尚、コンピュータが正常にUSB接続を認識している状態であるかを確認する場合は、以下の手順で行ってください。

(1)Windows XPの場合
確認方法は、スタートメニューから(またはマイコンピュータのアイコンを開く)「コントロールパネル」⇒「システム」⇒「ハードウェア」⇒「デバイスマネージャー」で、「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の項目の中の「USB オーディオデバイス」表示を右クリックから"プロパティ" を選択し、デバイスの状態が、「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていれば、コンピュータと本品同士の接続は正常に行われています。

(2)Macintoshの場合
確認方法は、「ハードディスク」ホルダーを開き、次に「アプリケーション」⇒「ユーティリティ」⇒「Audio MIDI設定」⇒「MIDI装置」のウィンドウを開き、"Vestax PC-CONTROLLER"と表示され、プロパティを見ると、
＊装置名：Vestax PC-CONTROLLER
＊製造元：Vestax
＊機種：Vestax PC-CONTROLLER
上記表示が確認できれば、コンピュータと本品の接続は正常に行われています。